

# 藻場・水産資源マップ作成事業 (要約)

桐原 慎二・仲村 俊毅

## 目的

本事業は、青森県沿岸の底質、藻場の分布、アワビ、ウニ、ナマコ等有用定着性資源の状況を把握することを目的に、「緊急地域雇用対策事業」の一環として行ったものである。平成12年度は、岩崎村から今別町沿岸に至る日本海及び津軽海峡西部沿岸について調査を行った。

## 方法

海岸線沿いに約500m間隔で調査線を設け、各調査線ごとに水深2.5m、5m、10m前後の地点に潜水し、おおよそ半径5mの海底を観察して岩盤、転石、礫、砂、泥に目視により区分し、海底に浮泥が見られた場合はその厚さを測った。砂や泥が卓越した場では、鉄筋を差し込んで深さ1m以内の範囲で砂泥層の厚さを求めるとともに、その約50gを採取し粒度組成を、また、約5gを採取し110℃下で13時間加熱後の重量の比から水分量を、600℃で2.5時間加熱後の重量の比から強熱減量を求めた。

藻場の分布は、10%以上の被度が認められたすべての種類の海藻について各々25cm四方の枠を用いて採取し、湿重量を求めると共に、コンブ目植物、ヒバマタ目植物については個体数を求めた。定着性資源は、1m四方の枠を用いて2枠分を採取し、種ごとに個体数と湿重量を測定した。各調査地点で海底の様子を写真に撮影するとともに、GPS位置測定器を用い緯度、経度を記録した。

表 漁業協同組合ごとの調査線及び調査地点の数

市町村名	漁業協同組合名	調査線数	調査地点数
今別町	今別東部	15	75
	今別西部	15	45
三厩村	三厩	20	60
	竜飛	15	45
小泊村	小泊	53	159
	下前	15	45
市浦村	脇元	9	27
	十三	11	33
車力村	車力	20	60
鱈ヶ沢町	鱈ヶ沢	30	90
	明石水産	10	30
深浦町	大戸瀬	40	120
	風合瀬	10	30
	深浦	35	105
	鱸作	10	30
岩崎村	岩崎	30	90
	大間越	20	60
計		368	1,104

## 結果

調査は、表に示すとおり、8町村にある17漁業協同組合の沿岸計368調査線上に設定した1,104地点で実施した。各調査地点の海底の状況(画像)及び主要な底生生物の分布状況を示した泡グラフを漁業協同組合ごとにCD-ROMにまとめ、関係機関に配布した。